



まちの地域資源の紹介

浦河町

うらかわちょう



- ◎面積／694.26平方キロメートル
- ◎人口&世帯数／12,617人・6,766世帯(2017年12月時点)
- ◎アクセス／新千歳空港から車で約2時間15分
(バスの場合は約3時間45分)帯広空港から車で約2時間

緑の牧場と碧い海を眺めながらくつろぐ

雄大な日高山脈を背に、広大な牧場が海沿いに続く浦河町。優秀な競走馬を多数輩出するとともに、「日高昆布」の産地としても知られています。北海道の中でも雪が少なく、冬が過ごしやすいのも特長。移住や体験暮らしの実績が多く、町の受入体制も充実しています。



▲桜とサラブレッド

(1) 涼しい夏、雪の少ない冬

夏の平均気温は約18℃。北海道らしい爽やかで涼しい気候です。また、冬も比較的積雪が少なく、平均積雪量は20cm以下。そのため本州出身の人にも暮らしやすいと評判です。四季折々の風景も美しく、春は桜並木、夏は昆布干しの様子、秋は紅葉、冬は雪を頂いた日高山脈と季節ごとの自然の風景が楽しめます。

(2) 乗馬を身近に楽しめる機会がいっぱい

サラブレッドの産地として有名な浦河町は、乗馬によるまちづくりにも取り組んでいます。初心者向けの乗馬体験から本格的な乗馬教室まで、住民が気軽に馬に触れる機会が豊富にあり、馬に乗って森の中を散歩するホーストレッキングなども楽しめます。

(3) 新鮮な海・山・大地の幸が味わえる

目の前の海は日高昆布をはじめ、サケやウニ、キンキ、タラ、カレイなど四季を通じて豊富な海の幸が味わえます。また、里山で採れる山菜や地元農家が育てた新鮮な野菜など、海・山・大地の幸が格安で手に入ります。

(4) 雪が少ないので冬も過ごしやすい

冬の浦河町も魅力満載です。雪が少ないので雪かきもほとんど必要なく、乗馬などのレジャーも通年で楽しめます。11月～1月頃までは天然記念物に指定されているオオワシやオジロワシの姿を観察することもできます。冬の夜、澄んだ夜空に輝く満天の星は都会では決して見ることのできない絶景です。

まちの地域資源の活用方法例

馬を眺めて癒されながら働く

町内約200の牧場に、3,000頭のサラブレッドが駆けまわる“馬のまち”浦河町では、町内の2つの乗馬施設でレッスンやトレッキングを楽しむことができます。また、楽しみながら馬とふれ合うことで、心身に障がいを持つ方などの能力向上と社会参加を促すことや、高齢者の介護予防を目的とした“乗馬療育(ホースセラピー)”も積極的に実施しています。綺麗な水・空気・景色、夏期冷涼で冬期少雪な過ごしやすい環境の中では集中力もアップ。業務を済ませて空いた時間は、乗馬を通して心身ともにリフレッシュすることもできます。自然豊かな環境でのサテライトオフィスのお試しにもご相談に応じます。



▲乗馬公園



▲豊かな海の幸



▲体験住宅

豊かな自然のめぐみで身体の内側からリフレッシュ

太平洋と日高山脈に抱かれた浦河町では、四季折々に自然のめぐみが堪能出来ます。春はウニやアスパラ、夏はイカ、秋はサケやキノコ、冬は毛ガニ…豊富な海の幸、山の幸を新鮮なまま味わうことができます。

選べる滞在先で自分スタイルの「うらかわ暮らし」が実現

町内には多様な“ちょっと暮らし住宅”が16棟あり、滞在スタイルに合わせて選択できます。すべての住宅で光回線インターネットの利用が可能。(別途料金)また、滞在中に楽しめる体験プログラムや、地域住民との交流も魅力です。